7月2日投票　東大阪市長選挙

くらしの活路をひらく市政を

長尾　淳三さん

福祉の切捨てやめさせ ほんとうの大阪市改革を

7月2日投票日で、東大阪市長選挙が行われます。

この選挙では、大阪自治労連は公正・民主の市政実現に向けてその先頭に立って奮闘している「明るい東大阪をつくる会」推薦の長尾淳三さんの勝利に向けて奮闘しています。弱者を犠牲にしてまで効率化をすすめる小泉政権のもと、貧困と社会的格差が拡大しました。市民のからは「将来のことを考えると不安で胸が押しつぶされそうだ」という声が寄せられています。しかし、現在の東大阪市政はこうした市民の不安に耳を傾けず、国の言いなりに市民に痛みを強いる市政をさらに推進しようとしています。

反響大きい「市民アンケート」

いま、市政に求められるのは、痛みを強いる政治から市民を守ることです。東大阪市職労や「明るい東大阪をつくる会」ではいま、市民の声を反映した東大阪市政を実現するために、「市政アンケート」にとりくんでいきました。「市政アンケート」は1700通を越える市民の声と思いが寄せられています。そして、このアンケートで明らかになったことは、市民の7割が市政に不満を持っていること。いま、優先的にとりくんでほしい施策として、「税金のムダづかいをやめる」「国民健康保険、介護保険の負担軽減」をあげています。

長尾淳三さんは、1998年から2002年までの4年間、東大阪市長として、長尾民主市政をすすめ、「学童保育への助成拡大」「同和行政の終結に向けたとりくみ」「乳幼児医療費助成制度の拡充」「全事業所への実態調査」など、多くの実績をあげてきました。こうした4年間の経験をいかし、「市民の暮らしを応援するあたたかい東大阪に」「中小企業が元気な東大阪に」「市役所改革で清潔、公正な東大阪に」の3つの改革をすすめることを明らかにしています。

年間に62万人が利用するトモノスをバッサリと廃止

大阪市立勤労青少年ホームの愛称である「トモノス」は「友の巣」をカタカナ表記したもので、児童や青少年がすくすくと育ち、心の交流が持てる「巣箱」の役割を担う施設として、いろいろな事業をおこなっています。大阪市内には26館の「トモノス」があり、大阪市社会福祉協議会などが運営しています。

今年の1月、大阪市は突然、市政改革基本方針の具体化のひとつとして、トモノスと児童館の廃止をうちだし、3月市会に廃止条例案を提出しました。この大阪市の動きに対して、住民や市民団体、労働組合の批判や存続をもとめる運動が一気に広がりました。利用者を中心にした4万人分の署名で、市議会では40年ぶりに市長提案の条例が不採決になるなどの事態をつくりましたが、他の大都市では100館近くも設置されている児童館が大阪市ではわずか10館。年間に60万人もの市民が利用するトモノス。これらを充実させることはあっても、廃止する道理はまったくありません。

5月市議会でふたたび廃止の条例案が審議されるなか、強行成立させました。

大阪市は、市政改革マニフェストでこうした施設の廃止の一方で、「芦原病院の不正助成金」問題、「飛鳥会」の西中島駐車場での横領事件などが起こっており、ずさんな管理・運営に対する批判と全容の解明をもとめる府民の声も大きくあがっています。

新語十番勝負

メタボリック・シンドローム

最近、よく使われる言葉で生活習慣病のこと。日本内科学会などが基準を発表して以来、ようやく定着してきました。内臓脂肪蓄積を重視しており、高脂血症、高血圧、高血糖の各基準のうち、2項目以上が該当するとメタボリックシンドロームと診断されます。栄養過多や運動不足による肥満が各国で問題になり、心臓病や糖尿病が大きな社会問題になっています。健康面だけでなく国民医療費の面でも深刻です。

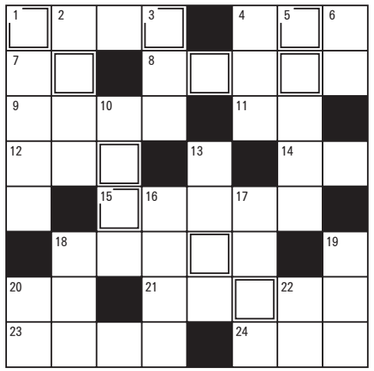
ちょっと聞いてよ（読者の声）

▶ただいま52歳。6月に資格取得の受験にチャレンジ。猛勉強中です。なかなか頭に入りませんが勉強すると腹がへるんですよね。**前島麻須未（岸和田市職労）**▶なぜか体重が増えてきたのでスポーツジムに通う決心を固めました。飲食を減らす努力も必要なんですが…。**高本方子（東大阪市職労）**▶保育士になって26年。最近は保護者とのコミュニケーションでストレスをため込んでしまうこともあり気をつけたいですね。**宮島田喜子（和泉市職労）**▶家に今年もツバメが飛来して巣をつくりました。大きな口をあけた子ツバメが親からエサをもらっています。1週間で巣立っていくのがさみしい。**奥川久央（寝屋川市職労）**▶健康のために、朝早く起きてウォーキングをしています。朝の空気はとても清々しくて気持ちがいいです。**片切潔（高石市職労）**▶小児科で働いています。病気の子どもが元気になった姿や、成長した姿を見るととてもうれしいものです。子どもたちから元気とエネルギーをもらっています。**谷奈奈（藤井寺市職労）**

クロスワードパズル

（解き方）二重ワクの文字を並べ替えて意味の通る言葉にしてください。

出題者：山本汎昭さん



ヒント：「愛国心」を明記しようとしています

タテのカギ

❶↑↓南極
❷英語で機知
❸夢と○○○に燃えた青春
❹個人用の部屋
❺交通機関が運転を休止すること
❻日常の衣食住に使う道具類
❿広く知らせること。○○○○活動
⓭馬子にも○○○
⓰降った雨の量
⓱唐の玄宗の妃
⓲艦船の建造・修理に用いる築造物
⓳○○○策におぼれる
⓴祖父↑↓
㉒ヨーガとも言う

ヨコのカギ

❶ルビー、サファイア、翡翠etc
❹コイン
❼二つ揃って一組をなすもの
❽拳を使って互いに攻撃しあう競技。キック○○○○
❾勢力・力がほぼ等しく互いに屈しないこと。
❿睦月、如月、弥生…
⓬↑↓野党
⓮○○と矢
⓯勤労・努力に報い奨励すること
⓲職場・役目等が同じ人。会社の○○○○
⓴卒業の意。東大○○
㉑↑↓陰極
㉓牛馬等の飼料とする草
㉔菜の花や月は○○○に日は西に

応募の方法

ハガキに「解答」「組合名（職場名）」「氏名」「住所」を書いて、送ってください。また、ハガキの余白に紙面の感想、職場のできごとや近況などをひとこと書き添えていただければうれしいです。解答者の中から5人に図書カードをおくります。「声」は「読者の声」として紙面に掲載させていただくことがありますのでご了承ください。掲載分についても図書カードをおくります。

送付先

〒530－0041 大阪市北区天神橋1丁目13－15 大阪グリーン会館4階　大阪自治労連「おおさか自治体の仲間」編集部

応募の締め切り　7月30日

正解と当選者の発表　2006年8月号の紙面に掲載

4月号の解答

「ジンジイドウ」

4月号の正解と当選者

62通の解答をいただきました。つぎの5人のみなさんと、今月号に「読者の声」を掲載させていただいた方に図書カードをおくります。▼坂口敦郎（富田林市職労）▼白川陽子（門真市役所）▼馬嶋信夫（大阪市公務公共労組）▼馬場正昭（吹田市職労）▼藤田久恵（吹田市公社労組）

ニュース笑アップ

芸岡☆友徳

単組ミニにゅ～す

関連評議会で連続「基礎講座」

大阪自治労連の関連評議会では、5月21日と6月4日の休日の午前、午後の4回にわたって連続「基礎講座」をひらきました。この連続講座にはのべ205人が参加して、講師の話を熱心に聞き、学びました。

参加者は「これまでモヤモヤとしてわからなかったことが、連続講座に参加してよくわかりスッキリしました。日々の活動に生かしたい」と目を輝かせて語っていました。

守口市職労が「九条バッジ」を制作

守口市職労では、憲法九条をまもる世論を職場、地域に広げようと「九条バッジ」を制作しました。直径6センチの円形でよく目立つデザインです。

新語十番勝負

TOB

村上ファンドによる阪神電鉄株の取得で、阪急・阪神との攻防がマスコミを賑わしました。よく出てくるのがTOB。経営権取得などを目的に、不特定多数の株主から株を買い集める手法。対象企業の発行済み株式の3分の1以上を得る場合に義務づけられています。買い付け価格、期間、株数、目的を公表し、条件に同意した株主から取引所外で購入します。期間は20日以上60日以内。